

# 省エネルギー

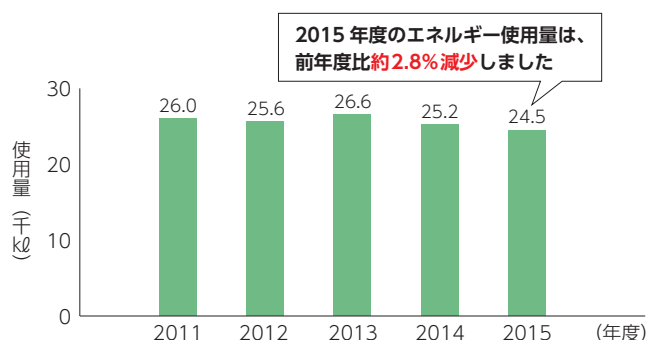
## 省エネルギー活動

当社では、1979年の省エネルギー法の制定に伴い足利第一工場がエネルギー管理指定工場となったことをきっかけに、省エネルギーの活動を本格的に開始しました。2009年5月にはエネルギー使用の合理化をより一層推進することを目的に省エネルギー法が改正され、エネルギー管理が工場・事業場ごとから企業全体に変わりました。当社は省エネルギーの重要性をさらに認識し、省エネルギー活動を環境負荷軽減の一環として位置づけ、全社を挙げ取り組んでいます。

## エネルギー使用量(原油換算)

2015年度エネルギー使用量は、主なエネルギーである電気と燃料の使用量を低減することを目的に取り組んだことから、前年度に対して約2.8% (0.7千kℓ/年) 減少しました。

### ●エネルギー使用量(原油換算)の年度別推移



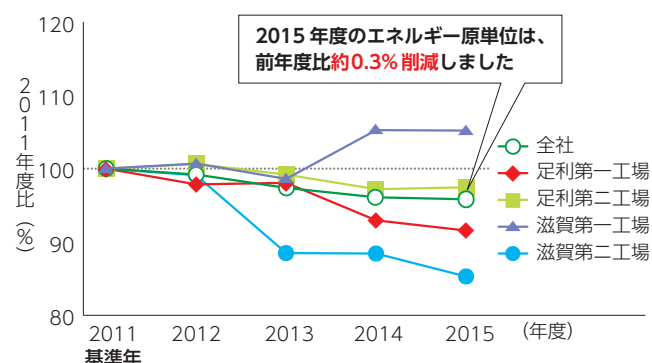
## エネルギー原単位

2015年度は、目標の「2014年度使用実績に対し、2015年度はエネルギー原単位1%削減」に向けて活動し、エネルギー原単位では前年度比約0.3%削減しました。

具体的には、貫流ボイラー更新や配管・バルブなどの保温強化、各装置のインバーター化や高効率化機器への更新、エア圧力・温調温度の適正化、照明(水銀灯・蛍光灯)のLED化などの省エネルギー改善に取り組まれましたが、目標値には達しませんでした。今後も対策を継続し、目標である前年度比エネルギー原単位1%削減を推進していきます。

【対象範囲】足利第一工場/足利第二工場/滋賀第一工場/滋賀第二工場/美唄工場/九州工場

### ●全社および管理指定工場ごとのエネルギー原単位の年度別推移



## 設備の改造・導入による使用エネルギー削減

2015年度は前述の前年度比エネルギー原単位1%削減を目標に、設備の導入・改造などを図りました。

### ●設備の改造・導入の主な内容と使用エネルギー削減効果(原油換算値)

内容	削減効果 (kℓ/年)
貫流ボイラー更新による省エネ	90
配管・バルブなどの保温強化、蒸気漏れ防止	40
LED照明・Hf蛍光灯の採用	30
トップランナー空調設備への更新	30
コンプレッサーの更新、エアリーク防止	20
変電所での高効率変圧器への更新	20
その他(ポンプ・モーターのINV化など)	140
合計	370

## 太陽光発電によるエネルギー創生

2015年度の太陽光発電設備による発電電力量は、2012年度の初回設備導入以後2回の設備増設を経て、1,868kwhになりました。

なお、CO<sub>2</sub>排出量の削減効果は733tとなり、2015年度のエネルギー使用によるCO<sub>2</sub>排出量の1.8%に相当します。

### ●太陽光発電設備

	設備容量 (kW)	発電電力量 (千kWh/年)	CO <sub>2</sub> 削減量* (t-CO <sub>2</sub> /年)
足利第二工場	529	653	212
滋賀第二工場	1,006	1,215	521
合計	1,535	1,868	733

\*足利第二工場は東京電力、滋賀第二工場はエネットの電気事業者排出係数(2010年)を使用



足利第二工場(2012年設置)

足利第二工場(2014年設置)



滋賀第二工場(2012年設置)

滋賀第二工場(2014年設置)

## 年度別環境関連設備投資費用(過去5年間)

